



那覇市制施行90周年記念

広報

なはし

市民の友

第724号 毎月1回発行
2011年(平成23年)

5月

発行●那覇市 編集●秘書広報課
〒900-8585 那覇市上之屋1丁目2番1号
☎867-0111 ●印刷 丸正印刷(株)

市の人口と世帯	
※()内はうち外国人	
2011(平成23)年3月末現在	
総人口	318,266 (2,128)
男	153,594 (1,074)
女	164,672 (1,054)
世帯数	136,587 (1,261)
住民基本台帳人口の内訳(外国人を除く)	
本 庁	95,766
真和志	104,511
首 里	57,882
小 禄	57,979

現状にあった生活保護制度に向けて

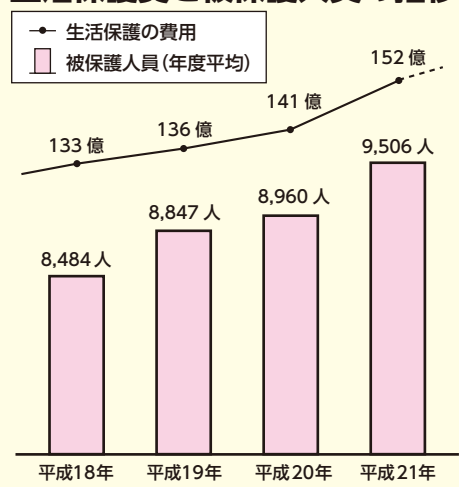
生活保護制度は、国民の健康で文化的な生活を保障する重要な制度で、昭和25年(1950年)に制定されました。近年の不況などにより、本市を含め、全国の自治体では、年々生活保護受給者が増加し、その費用は財政を圧迫し続けています。今回は、本市の「生活保護」について、おもに、財政面から取り上げます。

本市の生活保護状況

昨年7月に本市の生活保護受給者数は1万人を超えました。人口から受給者の割合をみると、30人に1人という高い割合になります。これは全国の平均が68人に1人という割合と比べても高い数値です。

本市の受給者が増加した原因は、「不況による失業」「高齢者の増加」など、様々な理由が考えられています。

生活保護費と被保護人員の推移



財政と生活保護の費用

生活保護で使われる費用は、国が4分の3、市が4分の1を負担しています。

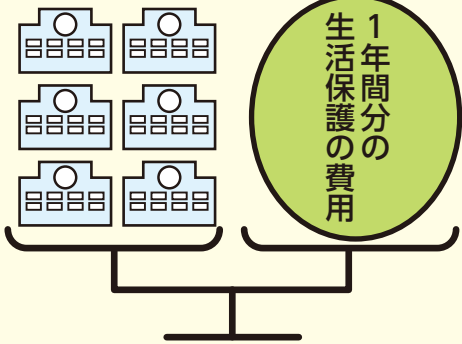
平成22年度、本市で生活保護にかかった支出の総額は、約174億円でした。

市は、平成17年から平成21年までの5年間に職員数を553人減らし、その結果、この間の累計で人件費約76億円の削減に成功しました。しかし、平成22年度1年間で、生活保護にかかった

金額は、その2倍以上にもなります。

1年間で生活保護に費やした費用は、小学校や中学校を6校建てられるほどの金額になります。

6学校の建設費 = 1年間分の生活保護の費用



※新しく小学校や中学校を建設する場合、1校あたり25億円から28億円が建設費としてかかります。

平成23年度も、生活保護にかかる費用は前年よりもさらに増え、約183億円が見込まれており、市の財政を圧迫しています。

生活保護は、憲法25条の「生存権」を受けて制定された国民の最後のセーフティネットとして、本来、国が保障する重要な制度です。

そこで、市は、国の負担割合を現行の4分の3より引き上げる必要があると考えており、平成23年3月には、本市議会も「生活保護費の国庫負担分の増額を求める意見書」を国に提出することを議決しました。

現状にあった法改正を求めて

生活保護制度は昭和25年に制定されたもので、近年この制度が社会情勢の変化により、時代にそぐわなくなっているとの指摘がなされています。たとえば、現在の制度では、生活保護を受けている人に支払われる金額が国民年金を受給している人が受け取る金額を上回ったり、生活保護法で定められている基準額が、最低賃金で働いた収入を上回るという現象も見られています。

これらの状況を踏まえ、昨年10月に、指定都市市長会は国に対し、現在の社会状況と合致した制度への改正の提案を行いました。このような全国的な流れを受けて、現在、国では生活保護法改正を視野に入れた、制度の見直しが行われています。

大切な制度

生活保護は、国民の健康で文化的な生活を保障した大切な制度で、必要としている人に確実に行き届くような制度でなければなりません。

生活保護制度が適正に機能し続けるため、市は、今後も、行政改革で効果的な予算の使い方をしていくとともに、不正受給には、訴訟をも視野にいたれた毅然とした態度で臨みます。そして、国に対しては、負担割合の増加を含めた、生活保護法の改正を求めていきます。

【お問い合わせ】

保護管理課 ☎861・5193



協働さん

いらっしやい!!



市民・事業者・行政が支え合う協働のまちづくりに取り組む団体、個人を紹介します。

第6回
NPO ecomoi
エコモット アイ

お問い合わせ
まちづくり協働推進課
☎861-3846



NPO ecomoi
☎868-5105
代表 高江洲悦子

第6回は、前々回の高江洲啓子さんのご紹介で、同じく那覇市協働大使の、NPO ecomoi代表、高江洲悦子さんです。

ecomoiが運営する、自転車タクシー「ペロタクシー」について伺いました。

Q ペロタクシーとの出会い

地球温暖化防止のために、戦前の沖縄にあった路面電車を復活させようと、「沖縄路面電車友の会」の活動が元々のスタートです。

路面電車の復活には、個人の力では限界があつて、個人でもできる環境活動を模索しているときに出会ったのが、ペロタクシーでした。

自動車に依存した生活は、環境問題や中心商店街の空洞化の要因となっています。ペロタクシーは、自転車ですから、排気ガスを出しません。市街地での移動手段の一つとして、環境に優しくて、商店街の活性化も期待して、ペロタクシーを運行しています。

Q ペロタクシーの運行地域は

国際通りとその周辺地域を主に運行しています。その外に、首里の酒造所めぐり、歴史散策などの観光コースの運行も行っています。利用者は、7~8割が地元の

乗るだけでエコ! のペロタクシー

ペロタクシーも、地元の方々に普段の足として受け入れられてきました。これから、もっと広げて行きたい。人材の育成、車載広告と駐車場の確保など、課題はあります。でも、乗るだけでエコになり、中心商店街の活性化にもつながるペロタクシーを、地元の方や、観光で訪れる皆さんの足として、もっともっと、利用してもらえようになればいいなと思います。



自然保護啓発活動として、ペロタクシーで販売する清涼飲料水の売上の一部をヤンバルクイナの保護に充てる活動「やんばるプロジェクト」に協力しています。



「いい暮らしより 楽しい暮らしを」~人と人とが支えあう協働により、心の豊かさを感じるまちを目指して~